

大阪府に寄せられたご意見（2024年1月分）の概要

府民文化部 府政情報室 広報広聴課 広聴グループ

総件数・内訳

2024年1月分 883件 受付期間: 2024年1月1日から2024年1月31日まで

<参考>前年同月: 1,081件 (うち署名140件)

2023年度 (4月から1月まで) 計: 9,814件 (署名含む)、9,400件 (署名を除く)

2022年度 (4月から1月まで) 計: 11,062件 (署名含む)、10,001件 (署名を除く)

【ご意見の内訳】

○府政に関する意見	658件
○所管外	148件
○その他 (趣旨不明等)	77件
計	883件

【公表・対応分】

○連絡をしたもの	3件
----------	----

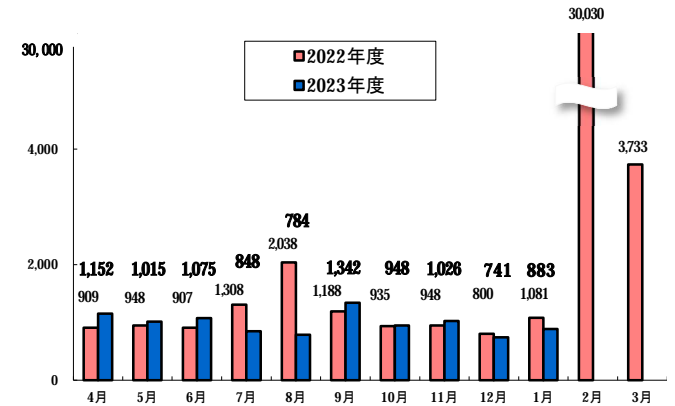
【府政に関する意見 (主なもの)】

(1) 大阪・関西万博に関するもの	265件
(2) 災害支援に関するもの	44件
(3) 府の防災対策に関するもの	22件
(4) 府営住宅に関するもの	16件
(5) 都市魅力・観光に関するもの	15件
(5) 府政運営に関するもの	15件

【受付部署別件数】

・府民お問合せセンター	769件
・府政情報室	107件
・各所属 (所属内訳)	7件
府民文化部	3件
政策企画部、総務部、 教育庁、健康医療部	1件

【件数の推移】



項目別の意見 (抜粋)

【大阪・関西万博に関するもの】

- ・能登半島地震で多くの方が亡くなっているにもかかわらず、2025大阪・関西万博のテーマに「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げて開催するのはおかしいのではないか。また、復興のためには多くの建築資材や人材が必要となるが、府が資材や人材を万博開催のために確保しているようでは、復興が遅れてしまうのではないかと懸念している。不安な毎日を過ごす被災者にとっては、温かい食べ物で心が癒され、励みになると思う。
- ・2025大阪・関西万博のアンバサダーが活動休止したことについて、知事は代役を立てない考えを明かしたが、中途半端な状態にせず、すぐに解任すべきだ。

【災害支援に関するもの】

- ・阪神淡路大震災を経験したため、令和6年能登半島地震の被災者がつらく苦しい思いしているのだからと心配していた。先日、府が被災地にキッチンカーを派遣するという報道を見て感動した。不安な毎日を過ごす被災者にとっては、温かい食べ物で心が癒され、励みになると思う。

【府政運営に関するもの】

- ・大阪府行政オンラインシステムは、市町村の行政オンラインシステムで利用者登録したアカウントをそのまま利用することはできないそうだが、市町村のアカウントと統一化して利用できるようにしてほしい。

【府の防災対策に関するもの】

- ・能登半島で強い地震があり、府内でも同日地震が起こった。府内の災害対策について知りたいと思い、府に電話をしたが、年末年始のため繋がらなかった。国内で大きな災害が起こった時には、府は行政機関として問合せができる窓口を臨時で設け、府民がいつでも災害状況や対応について確認できるようにすべきだ。

【府営住宅に関するもの】

- ・府営住宅の応募資格について、子どもが中学生になり、子育て世帯の対象外となってしまった。しかし、これからも高校や大学、専門学校に通う費用などお金がかかるため、医療費助成制度と同様に、府営住宅の応募について、中学生以上の子どもがいる家庭も子育て世帯として扱って欲しい。

【都市魅力・観光に関するもの】

- ・F1の誘致について、国名を冠するレースは1カ国につき1回しか開催できないものであり、すでに日本モータースポーツの聖地となっている場所があるにもかかわらず、府が誘致するのはF1のファンとして反対だ。誘致する際には、経済効果やブランドイメージの向上を狙うだけでなく、純粋に誘致するものへの情熱や愛が根底にあるべきだ。

ご意見の取扱い

大阪府に寄せられたご意見は、今後の府政運営の参考にさせていただきます。このうち、制度や府の考え方の説明が必要と判断したものなどは、適宜ご本人に連絡を取るなどして回答しました。回答内容については、「[府政へのご意見](#)」ホームページに掲載しています。

なお、国、市町村などの府以外の官公庁に関するご意見のうち、これらへの伝達を希望されたものについては、各機関に内容をお伝えしました。